

トリア大学留学体験記 1月提出分

L244039 法文学部法経学科2回生 時山怜花

3カ月経過しての感想

ドイツに来てから既に3カ月が経過しました。私の体感では、まだ1か月も経っていないのではないと思うほどで、時間の速さに少し焦りを感じています。9月、10月は異国での生活に慣れることに精いっぱいでしたが、11月に入ると少しずつ余裕が出るようになり、友達と旅行したり遊んだり、充実した生活を送ることができたと思います。

ただ、勉強面に関しては、履修した授業が多かったこともあり、十分に手が回らないことが多くありました。後述しますが、ここ2か月は大幅に羽目を外してしまったので、次年度はこれまで以上に計画的に学習に取り組まなければいけないと反省しています。

クリスマスマーケット巡り

私がドイツ留学中の最も楽しみしていたのは、ヨーロッパ各地で開催されるクリスマスマーケットです。もともと冬の必需品を売る市場として、ドイツのドレスデンから始まったクリスマスマーケットは、現在では各地のご当地料理、体を温めるホットワイン、クリスマスのオーナメントをはじめとしたさまざまな工芸品や食品が並ぶイベントへと発展していきました。

そして、行きたいマーケットが多すぎるあまり、11月末からは毎週末どこかへ旅行するという、かなりハードなスケジュールとなってしまいました。ドイツの三大クリスマスマーケットとされるシュツットガルト、ドレスデン、ニュルンベルクはもちろん、フランスのストラスブールやハンガリーのブダペスト、オーストリアのウィーンへも訪れました。特にストラスブールのクリスマスマーケットは規模が大きく、中央に鎮座する巨大なクリスマスツリーは圧巻でした。どこのクリスマスマーケットも綺麗で、一生この空間にいられたらなと思うほどでした。

ノイシュバンシュタイン城

つい最近、ドイツ南部バイエルン州シュヴァンガウという町にあるノイシュバンシュタイン城を訪れました。ルートヴィヒ2世が建てたお城で、シンデレラ城のモデルになったともいわれる美しいお城です。

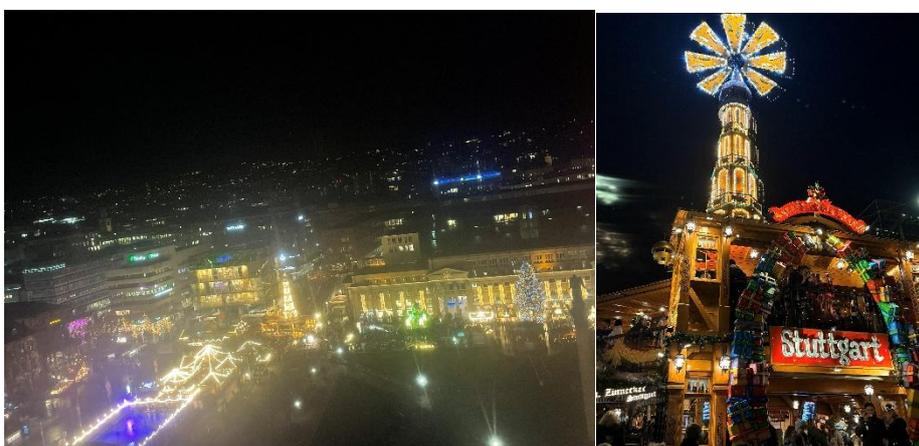
シュルツ先生の授業でこのお城の存在を知り、冬景色のノイシュバンシュタイン城を実際に見たいと思い、Trierから電車を乗り継いで、計11時間かけて向かいました。気温-4°という涙が出そうなくらい寒かったですが、天候に恵まれ、それまでの疲れが一気に吹き飛ばすほどの綺麗な景色を見ることが叶いました。残念ながら、雪の

影響でバスが運行せず、マリエン橋へは行けませんでした。次回は夏に再チャレンジしたいと考えています。

終わりに

留学前の私はインドア派で、外出すらあまり好きではなかったのですが、現在そのスタイルが変わりつつあります。慣れない行動をすると疲れることもありますが、それ以上に得られる経験の価値は大きく、異国の文化や伝統を実際に肌で感じた時の高揚感は、他には代えがたいものだと感じました。この2カ月さまざま場所へ友人と訪れましたが、すでに忘れられない大切な思い出です。

2026年は、学生の本業である勉学に一層力を入れて取り組みます。



Stuttgart 右の写真は観覧車から撮影



Dresden



Nürnberg



Wien



Straßburg



Schloss Neuschwanstein

